

# ごえいか - イベント -

バックナンバー

## 第56回全国奉詠愛知大会 ～「東日本大震災」慰霊と復興への願い～

詠秀 田中里侑

平成23年11月17日。愛知県「中京大学文化市民会館」に於いて、第56回豊山流大師講全国奉詠愛知大会が開催され、全国各地より87支部、1,000名を超える講員の皆様にご参加いただきました。当日の報告をさせていただきます。



平成23年3月11日、午後2時46分。春は名のみ凍てつくその日、誰も予想し得なかった<sup>かれつまと</sup>「**苛烈**」さで、大地は牙を剥きました。それは津波をも誘発し、なにもかもを呑み込み押し流してゆく有様は人智の及ぶところではなく、関東への電力供給の要である福島原子力発電所も、成す術なく<sup>つい</sup>潰えてしまうほかありませんでした。天災、とひとくちに<sup>まと</sup>纏めてしまうにはあまりにも暴虐な出来事でした。後に東日本大震災と呼ばれる、激甚災害の発生です。

このたびの災害で犠牲になられたすべての方の廻向を願う慰霊法要並びに式典より、今大会の幕が開きました。



『総本山長谷寺和讃』の響きが会場に満ちる中、豊山流大師講総裁小野塚幾澄猊下を大導師にお迎えしてはじまりました。法要は、舞台中央に掛けられた大画軸、本尊十一面観世音菩薩の慈悲深い眼差しに見守られ厳粛に進み、『<sup>こくどあんねいばんれいくようわさん</sup>国土安寧萬霊供養和讃』、『追善供養御詠歌 心華』の一斉奉詠に至ります。

新曲『国土安寧萬霊供養和讃』は、今大会に寄せて内山慶法詠監により書き起こされました。無常たる世の儚さや、過去への嘆きとそれに痛みそれを<sup>いた</sup>悼む現在の祈り、そして未来を見据える希望が、また「永遠の光」すなわち遍照金剛、大日如来の絶対の救済が、哀切であるとともに強靱な言葉に込められています。皆様の真摯なお唱えで会場が一体になる様には、胸が熱くなる想いが致しました。



法楽に次ぎ、新たに発足した支部に支部旗が授与され、また永年に亘って研鑽を積まれた支部・講員の皆様に褒賞がなされました。そして第56回全国研詠大会（個人の部）で優秀な成績を収められた方々に、猥下より賞状が親授されました。

猥下のご垂示では、慰撫<sup>いぶ</sup>に満ちたお声で語られる深い<sup>いたわ</sup>労りのお言葉に、目頭を押えておられる講員さんもいらしたようです。続いて川田聖成豊山流大師講理事長よりあたたかい激励のお言葉を頂戴し、『真言みおしえ和讃』のお唱えの中、法要は終了致しました。

しばしの休憩を挿<sup>はさ</sup>んだのち、いよいよ登壇奉詠のはじまりです。

『大師講第二番御詠歌 無礙』

『大師講第三番御詠歌 智水』

『総本山長谷寺第一番御詠歌 海音』

『総本山長谷寺縁起和讃』

『総本山長谷寺縁起御詠歌 慈音』

以上五曲が今回の課題曲です。

今大会は登壇される74支部を課題曲ごとに16のグループに分けた、合同奉詠となりました。

舞台上に座し、静かにご自分の順番を待つ間はさすがに緊張の面持ちでおられたようです。しかしひとたび奉詠がはじまると声を合わせるのがはじめてとは思えないほどやわらかく、のびやかに相和してゆくお唱えに、日頃の練習の成果を窺<sup>うかが</sup>い知ることができました。

またそれぞれの奉詠後、午前の部は中島泰頭詠匠、午後の部は池戸義久詠匠の、端正なお言葉で丁寧<sup>はつらつ</sup>に紡がれる講評に、皆様、なお一層の精進を誓われたことと存じます。

昼食休憩中には、詠歌研修生による登壇奉詠があり、1年生のしっかりと音を追う<sup>はつらつ</sup>澆<sup>はつらつ</sup>としたお唱え、その先輩たる2年生のしっとり情景をも描いてみせるお唱えは、これからの大師講を担う頼もしさを感じさせてくださいました。

登壇奉詠が終わり、小倉秀清豊山流大師講総本部長より今大会にご参加くださった講員の皆様に感謝と労いのご挨拶をいただくと、今大会も第3部を残すのみとなります。「復興への願い」と題されたこの第3部では、愛知県仏教青年会の皆様が、豊山太鼓の奉納演奏をしてくださりました。曲目は「六大響」「輪廻龍昇」です。

人の身の丈ほどもある大太鼓を中心に、会場内を揺るがすほどに轟きわたる勇壮な音色はまさに魂を込めた祈りを感じさせ、演奏の合間の瞬間の<sup>せいひつ</sup>静謐には、どこか忘我のころもちが致しました。

『大師講第一番御詠歌 同行』の一斉奉詠を最後に、鈴の余韻を残しながら舞台の幕は閉じ、今大会も無事、成満致しました。

最後に、前日は夜遅くまで、当日は朝早くから会場設営等にご尽力くださった豊山流大師講総本部の皆様、詠歌研修生の皆様、そして妙音を会場に轟かせてくださった愛知県仏教青年会の皆様に感謝を申し上げますとともに、同信の皆様の益々のご発展、被災地の1日も早い復興を祈念申し上げ、大会の報告とさせていただきます。

合掌

参加支部			
総持寺	(東京都足立区)	金剛	(東京都足立区)
良観寺	(東京都葛飾区)	九品寺	(東京都葛飾区)

燈明寺	(東京都江戸川区)	善養寺	(東京都江戸川区)
円福寺	(東京都江戸川区)	円福寺第二	(東京都江戸川区)
萬福寺	(東京都江戸川区)	泉福寺	(東京都江戸川区)
江戸川密蔵院	(東京都江戸川区)	世尊院	(東京都杉並区)
常性寺	(東京都調布市)	花蔵院	(東京都青梅市)
延命寺	(東京都小平市)	三光院	(東京都東大和市)
光明院	(川崎市多摩区)	永寿院	(横浜市青葉区)
弘栄	(横浜市緑区)	千手院	(東京都町田市)
西福寺	(埼玉県三郷市)	蒲生地蔵院	(埼玉県越谷市)
延命院	(埼玉県杉戸町)	寿徳寺	(埼玉県鷲宮町)
西蔵院	(埼玉県久喜市)	徳性寺	(埼玉県加須市)
光明寺	(埼玉県神川町)	宝幢寺	(千葉県花見川区)
貴船	(千葉市稲毛区)	観音寺	(千葉県流山市)
聖徳寺	(千葉県柏市)	寿量院	(千葉県柏市)
子之神大黒天	(千葉県我孫子市)	富蔵院	(千葉県野田市)
光福寺	(千葉県木更津市)	東学寺	(千葉県浦安市)
金蔵院	(茨城県古河市)	下野国分寺	(栃木県下野市)
栃木第一	(栃木県栃木市)	禅定院	(栃木県足利市)
金剛寺	(群馬県安中市)	自性寺	(群馬県安中市)
圓明寺	(群馬県安中市)	信照寺	(群馬県安中市)
遍照寺	(群馬県館林市)	不動寺	(長野県須坂市)
高顕寺	(長野県須坂市)	大門寺	(新潟県新潟市)
浦佐千手院	(新潟県南魚沼市)	佐渡岬	(新潟県佐渡市)
金性寺	(福島県小高町)	山清寺	(福島県郡山市)
延命寺	(福島県郡山市)	神宮寺	(福島県本宮町)
西勝寺	(福島県猪苗代町)	能満寺	(福島県磐梯町)
勝常寺	(福島県湯川村)	善明院	(山形県川西町)
赤門	(愛知県一宮市)	満蔵院	(愛知県稲沢市)
宝昌寺	(愛知県一宮市)	北室院	(愛知県南知多町)
密蔵院	(愛知県美浜町)	利生院	(愛知県南知多町)
宝乗院	(愛知県南知多町)	悉地院	(滋賀県伊吹町)
醍醐寺	(滋賀県浅井町)	常福寺	(三重県伊賀市)

滝仙寺	(三重県青山町)	宝泉寺	(三重県名張市)
善福寺	(三重県青山町)	勝因寺	(三重県上野市)
龍性院	(三重県名張市)	常楽寺	(三重県伊賀市)
極楽寺	(三重県名張市)	喜福寺	(三重県青山町)
蓮花寺	(三重県名張市)	蓮勝寺	(三重県上野市)
池辺寺	(三重県伊賀市)	蓮福寺	(三重県上野市)
大寶寺	(三重県伊賀市)	佛土寺	(三重県上野市)
正福寺	(三重県上野市)	安養寺	(三重県伊賀市)
能満院初瀬	(奈良県桜井市)	極楽寺	(高知県奈半利町)
清瀧寺	(高知県土佐市)	越後教区本部	
伊予教区本部			

[→前回のイベントを見る](#)

お問合せ

豊山流大師講総本部

〒112-0012 東京都文京区大塚5-40-8

TEL/03-3945-3900 FAX/03-3945-0702

(土・日・祭日・その他仏教行事等で、長期お休みを頂く場合も御座います。予めご了承下さいませよう宜しくお願い致します。)